

●世界の主な地震

平成 24 年（2012 年）5 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

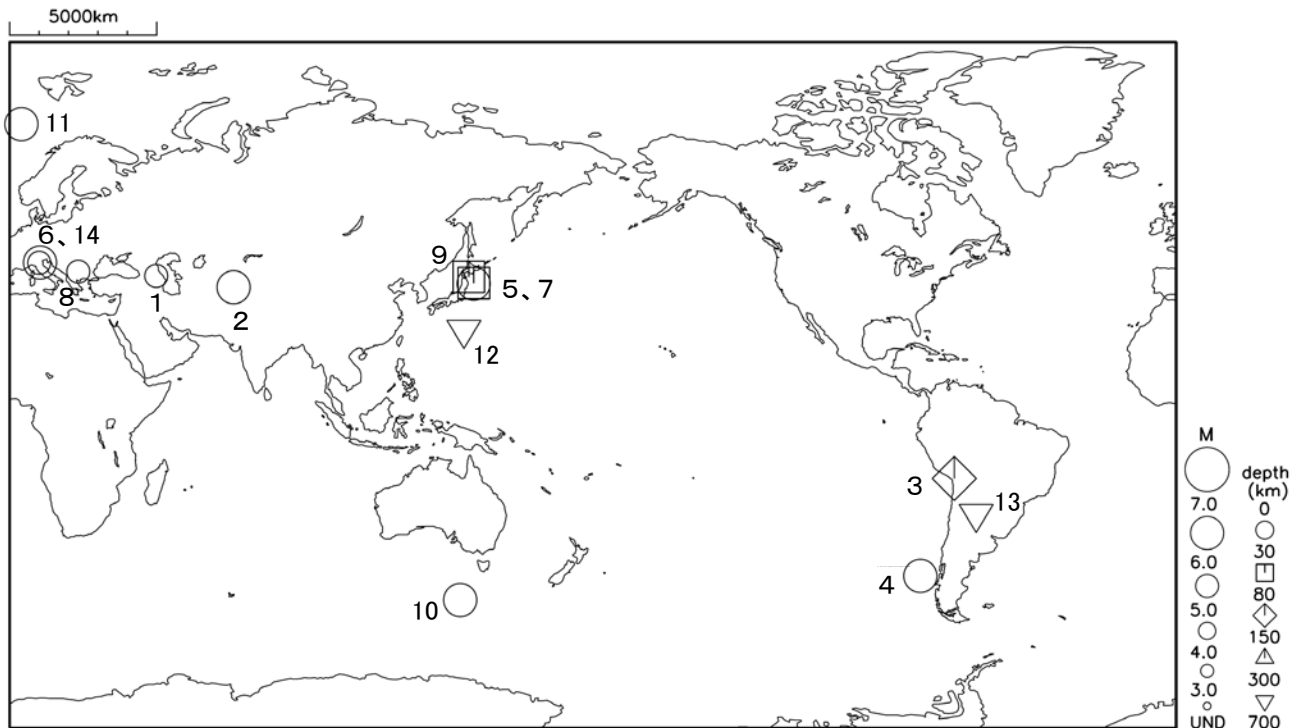


図 1 平成 24 年（2012 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

*：震源要素は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

**：数字は、表 1 の番号に対応する。

***：マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 24 年（2012 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	印 洋	遠 地
1	05月07日13時40分	N41° 32.9'	E 46° 47.3'	11			5.6	コーカサス	負傷者約50人、建物被害3100棟以上			
2	05月13日08時28分	N38° 37.5'	E 70° 23.0'	10	6.0	5.7	5.9	アフガニスタン／タジキスタン国境	死者1人以上、建物被害多数			
3	05月14日19時00分	S17° 48.9'	W 69° 44.9'	98			6.2	ペルー／ボリビア国境				
4	05月18日11時00分	S44° 37.9'	W 80° 05.8'	10	5.5	5.7	6.4	チリ南部沖				
5	05月20日04時05分	N39° 41.9'	E143° 40.8'	33		(6.0)	(5.7)	三陸沖				
6	05月20日11時03分	N44° 55.2'	E 11° 19.8'	10			6.1	イタリア北部	死者7人以上、負傷者50人、建物被害多数			
7	05月20日16時20分	N39° 32.2'	E143° 37.2'	7	5.9	(6.5)	(6.4)	三陸沖	岩手県と宮城県で小さな津波を観測			
8	05月22日09時00分	N42° 38.7'	E 22° 59.9'	10			5.5	ブルガリア	建物被害数棟			
9	05月24日00時02分	N41° 20.6'	E142° 07.4'	60	6.2	(6.1)	(5.9)	青森県東方沖	非住家一部破損15施設など			
10	05月24日07時59分	S50° 25.2'	E139° 30.9'	10	5.5		6.0	インド／南極海嶺西部				
11	05月25日07時47分	N72° 57.8'	E 5° 39.3'	10	5.7	6.1	6.2	ノルウェー海				
12	05月27日06時48分	N27° 00.1'	E140° 38.9'	499	5.5	(6.3)	(6.0)	小笠原諸島西方沖				
13	05月28日14時07分	S28° 03.6'	W 63° 04.6'	588			6.8	アルゼンチン、サンティアゴデルエステロ州				
14	05月29日16時00分	N44° 51.2'	E 11° 05.1'	9	5.9	5.8	5.8	イタリア北部	死者17人以上、負傷者350人、建物被害多数			

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による（平成 24 年 5 月 31 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。

・震源時は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。

・「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA)、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報 (TWI)（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

・5 月 20 日 16 時 20 分に三陸沖で発生した地震による津波の記録は気象庁による。

5月20日 29日 イタリア北部の地震

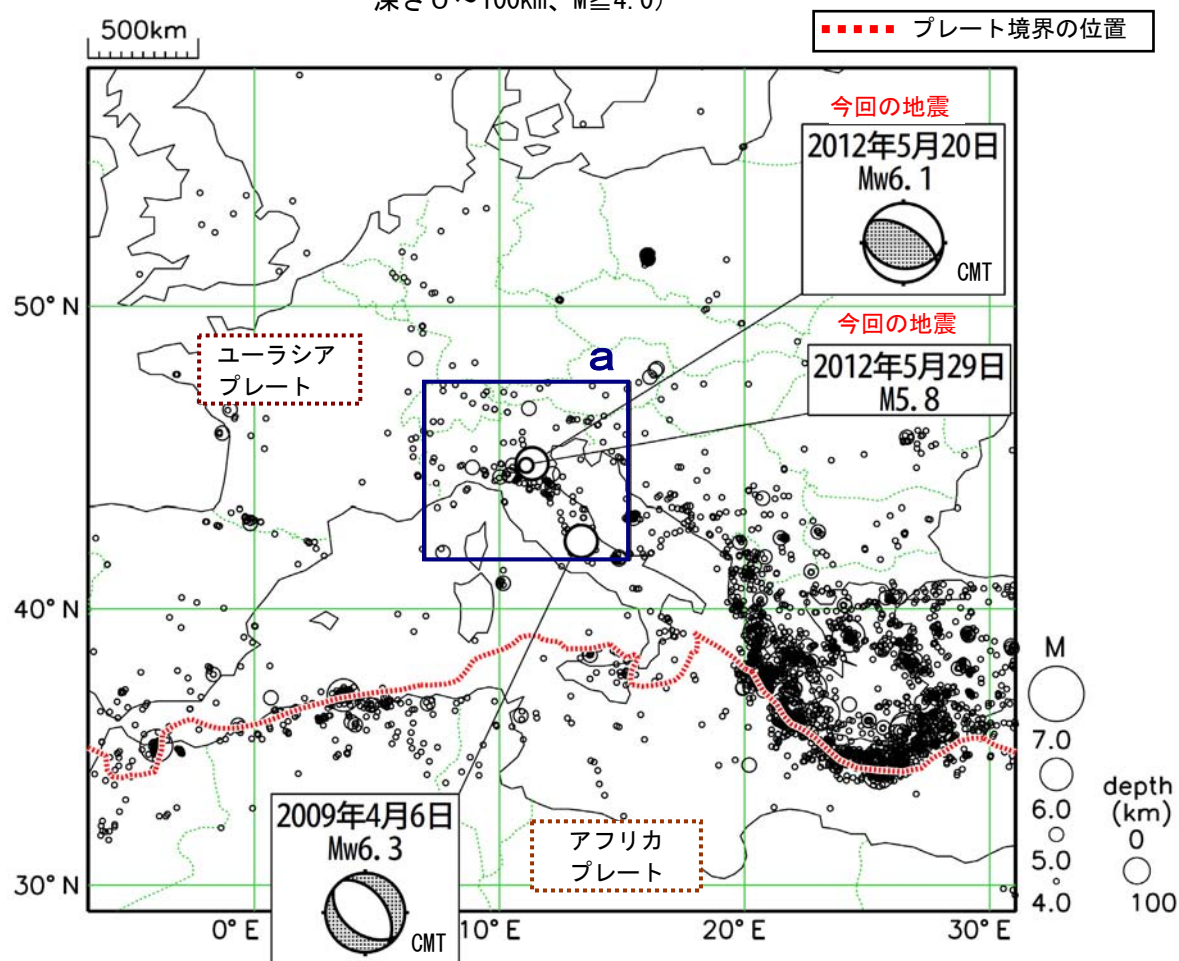
2012年5月20日11時03分（日本時間）、イタリア北部の深さ10kmでMw6.1の地震が発生した。この地震により、7人以上が死亡、50人が負傷した。この地震の発震機構（Global CMT 解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

また、この地震の震源付近の深さ9kmで5月29日16時00分にM5.8の地震が発生した。この地震により、17人以上が死亡、350人が負傷した。

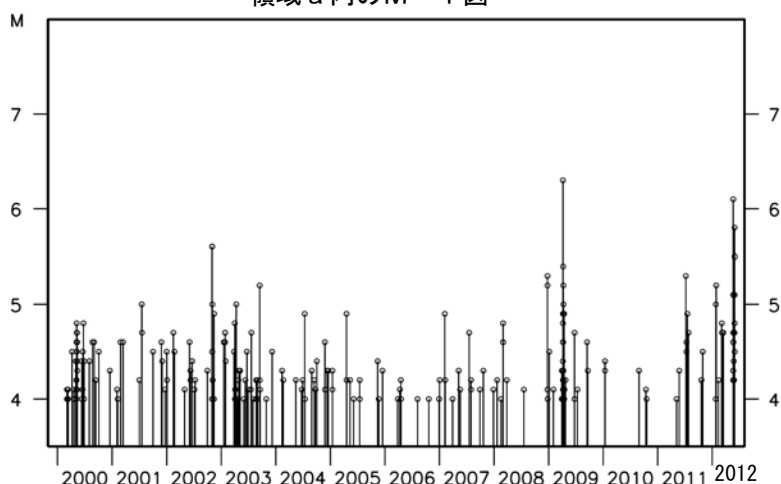
これらの地震は、ユーラシアプレート内部で発生した地震である。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）で発生した最大規模の地震は、2009年4月6日に発生したMw6.3の地震である。この地震により295人以上が死亡、1000人が負傷した。

震央分布図（2000年1月1日～2012年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$ ）



領域a内のM-T図



※ 本資料中、2012年5月20日の地震のCMT解はGlobal CMT解により、2009年4月6日の地震のCMT解とMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

地震の被害は、米国地質調査所（USGS）の資料より引用。